

平成21年度 第5回研究企画委員会

議 事 録

1. 日 時:平成22年2月1日(月) 10:00～12:10

2. 場 所:日本応用地質学会 事務局会議室

3. 出席者:(アンダーラインは欠席)

大塚委員長,長田副委員長,阪元幹事,天野委員,江口委員,大野委員,小野田委員,笠委員,品川委員,武田委員,中尾委員,中曽根委員,濱田委員

4. 討議資料

平成21年度第4回研究企画委員会議事録(案)……………(21研企
資)

地すべりの初生と評価に関する研究小委員会 第18回議事録(案)……………(21
研企 資 -1)

岩盤分類再評価研究小委員会(第二期) 第12回議事メモ……………(21研
企 資 -2)

第15回応用地質学における地下水問題研究小委員会(第二期)議事録
(案)……………(21研企 資 -3)

応用地形学研究小委員会(第三期)活動報告……………(21研企
資 -4)

平成21年度第4回事業企画委員会議事録(案)……………(21研企 資
-1)

平成21年度第5回理事会資料……………(21研企 資 -2)

教育関係常置委員会設置に関する合同会議(議事録案)……………(21研
企 資 -3)

委員会運営規程(案) 総務委員会,編集委員会……………(21研企
資)

廃棄物処分における環境保全・防災のための調査・解析手法に関する研究小委員会設立趣意
書……………(21研企 資)

学会設立50周年行事拡大特別委員会議事メモ(案)……………(21研企
資)

5. 議 事

5 - 1. 前回議事録の確認

案について、一部修正のうえ、承認した。

5 - 2 . 研究小委員会活動報告

(1) 地すべりの初生と評価に関する研究小委員会・・・阪元幹事

【報告事項】

- ・第18回委員会(平成22年1月27日開催) の内容、平成22年度シンポジウム準備状況についての報告。
- ・シンポジウムについては、プログラム、発表者についての委員会案を決定した。本日、会告原稿を事業企画委員会に提出する予定。

(2) 岩盤分類再評価研究小委員会(第二期)・・・阪元幹事代理報告

【報告事項】

- ・第12回委員会(平成21年12月16日開催) の内容、および、技術書作成の工程の報告。

【意見等】

- ・原稿査読は研究企画委員会が行うこととなるが、委員会内だけでは内容的に難しいと思われるため、委員会以外のメンバーも入れた作業部会的な集まりで対応する必要がある。
- ・出版物が出来上がった後に、それをテキストとした講習会開催などの企画事業とタイアップさせることが理想的である。

(3) 応用地質学における地下水問題研究小委員会(第二期)・・・長田副委員長

【報告事項】

- ・第15回委員会(平成21年12月21日開催) の内容についての報告。
- ・WG1はシンポジウムとりまとめ作業、また、WG2は成果報告書作成中。それらを組み込んだ委員会報告書は次回総会を目処に作成する予定である。

【意見等】

- ・WG2の成果は次年度の講習会の候補とするかは、成果報告書の完成度を考慮してからとする。

(4) 応用地形学研究小委員会(第三期)・・・中曽根委員

【報告事項】

- ・巡検(平成21年12月12-13日)および第3回幹事会(平成22年1月19日開催) の内容についての報告。
- ・今後の委員会活動について議論した(成果とりまとめ、次期委員会立ち上げなど)。

5 - 3 . 常置委員会・理事会報告

(1) 事業企画委員会・・・中尾委員

【報告事項】

- ・平成21年度第4回委員会(平成21年12月4日開催)の内容についての報告。
- ・研究小委員会の研究成果発表の場としての研究発表会におけるトピックセッションを設置することを検討している。

(2) 理事会報告・・・大塚委員長

【報告事項】

- ・学会内の教育関係の常置委員会(継続教育委員会、技術者教育委員会)を統合した「教育委員会(仮称)」が設立されることとなった。これにより、研究企画委員会の担当事項から「教育に関する事項」は除外されることとなった。
- ・常置委員会の規程を各委員会にて作成することとなった。

【審議事項】

- ・研究企画委員会が「教育に関する事項」とともに担当することとなっていた「啓蒙に関する事項」の部分の扱いについては、再度理事会の承認内容を長田副委員長が確認する。
- ・研究企画委員会の規程については、江口委員と幹事で案を作成して、各委員に配信し、意見集約する。その結果を受けて、次回委員会までにドラフトを作成する工程とする。

5 - 4 . 新規研究小委員会の設立について

新規研究小委員会「廃棄物処分における環境保全・防災のための調査・解析手法に関する研究小委員会」の設立発起人である登坂会員から、設立趣意の説明を受け、標記研究小委員会の設立について審議した。

【意見等】

- ・現在活動中の「災害廃棄物の防災と環境に関する研究小委員会」で整理・掌握できた事項について、さらにこの委員会で研究を継続することは、良いと思われる。
- ・活動予定内容である自治体への調査については、不具合事例がきちんと出てくるかどうか課題である。
- ・これからの時代の要請を見通すと、最終まとめの「解析・評価」には、「リスク評価」の文言を加えた方が良い。
- ・アンケートは、学会における所定の承認手続を踏んだ上で実施すること。

【審議結果】

- ・提案された研究小委員会については、設立することで理事会に諮る。なお、現行小委員会の継続ではなく、新たな小委員会の位置づけとする。
- ・設立趣意書は、研究企画委員会での議論を踏まえ、再度検討して頂く。なお、学会誌やホームページ掲載用にコンパクトにしたものを別途作成して頂く。
- ・設立の工程については、「災害廃棄物の防災と環境に関する研究小委員会」の今後の活動予定も踏まえて立案する。

5 - 5 . 学会設立50周年記念出版物について

- ・内容の構成を組み替えることとなり、今後、新たな方針で作業が継続されることとなった。
- ・研究企画委員会が作業分担している「応用地質学のあゆみ」については、作成を担当していた小野田委員に状況を報告して、原稿を引き継ぐ段取りを進める。

5 - 6 . その他

- ・次回委員会は、3月9日(水)9:30より学会事務局にて開催する。
- ・各研究小委員会に総会資料作成を依頼する。

以 上